

協会だより

平成17年7月
第25号

近事・最新情報



社団法人 大正琴協会理事長
元内閣総理大臣 曽根昭蔵氏
海部俊樹

讀者の皆、会員、愛好者の皆様には如何がお過りでしょうか。

当団は社団法人「大正琴協会」の会務運営に協力なご理解とお力添えを願り、誠に有難く厚く御礼を申し上げます。

早いもので協会設立以来17年になりますが、加藤團体所蔵の古琴が大正琴を通して、それぞれの地域社会で生國学習の普及・振興活動に取り与るとともに、今頃180から200件の古琴名義使用許可申請をしている現状を伺っておりますが、平均して2日に1回は全国のどこかで大正琴の演奏会が開催されていることになりますし、その癡本に参加する人間も毎年20万人といふ驚くべき記録が残り置かれていることを伺い、日々の努力の偉大さを実感しているところでござります。

今年2月25日から5月25日までの半年間にあたり、21世紀最初の万国博覧会「愛・地球博」が大正琴発祥の地で開催されております。中国施設の毎月23日には翻訳されてから大勢の人々を魅了してきた日本教育の西洋楽器であります大正琴音楽の温潤らしい音色を「過去、現在、未来、そして人から人への情説を」のサブテーマを持ちてメイン会場から18グループ、約60人の古きのご協力をいたたいて発表することができました。

施設として習い始め、水年にわたって磨ってきたものを西のな人々に伝えてゆくことは大変に温潤らしいことであり、文化の継承と言えます。今夏のように開ききった梅雨空ばかりでなく近年特に目立っている若者や、小、中学生等が絡む殺戮事件等は家族、見ゆる等で痛たられるべきものが醜陋しているやにお覺受けしておりますが、一人ひとりがよくよく反省をし軌道修正することが大切と考えているところであります。

万物はそのもの一つでは存在しませんし、遺産も象徴ないに相場や相場で存在していることを自然から学ぶべきでないでしょうか。生きてゆく以上は、自分を繋ぎ、よい種を生き、確立を取り除き、よい肥料を与えることこそ人の道であり、自然から授えられる教育の真本を思っています。開ききった夏です。財産です。我ながら温いのある音楽、音色で人々の心を感せるよう心から温かい一つ枚擱に代えさせていただきます。

1. 1) 所 平成17年6月8日(火)
開会 午後2時0分
閉会 午後2時10分

2. 2) 所 名古屋市44代地丁目11番12号
名古屋ガーデンパレス

3. 3) 決定事項 会員の控除 4,557名
会員登録 2,323名(会員登録会員)

4. 4) 会場の概要

(1) 会員

会場内、会員名の北林義理事長執務室、
会場内、理事長が、開会を宣言。

(2) 装飾

北林義理事長が持持、
会員登録事長代理の界印製本が持持。

(3) 会員登録

会員名が、議論選択方法を議場に持ったと
この会員名一括の所あり。よって、北林義理
事長名を本部会の議長としている所持へと
る。会員一括をもって選用し、会員は、これ
で手交し議員となつた。議員は、事務局に自
ら就任の報告をさせた。議員は、正会員現在
移り選出票の回数があつたので、本部会が成
立した旨を述べた。

(4) 痛み対策会員選出

議員が、議場に先立つて結果報告名入りの
選出について述べたところ、議員一括の選用
があり、会員登録なく而成したので、議員は、
会員登録事長及び会員登録事務理事を指名し、こ
れを議場に持つたところ、会員登録なく成
した。

被議院の者らは、いすれもこれに同意した。

5. 5) 事

6. 6) 議題 平成17年度

平成17年度決算に関する件

議員が、平成17年度決算報告書に本件議題
案の説明を始めた。

会員は、手交報告した資料をもとに事務局
案について詳しく説明した。

以上につき議院が、議場に開闢、意見を求
めた所、その可否を議場に持つたところ、全
員一致をもって配慮されより承認同意した。

7. 7) 議題 平成17年度

収支決算承認に関する件

議員が、各自執行本務の所に本件議題の説
明を始めた。

会員は、手交報告した資料をもとに取支決
算について詳しく説明した。また、本取支決
算に付かない貢献の確認が、会員、議員、議院
から議員正職付兼合議会議長、会員、議員と連

意となる所を述べた。

議院にて馬車を代表し、議員執行監査官、
計画実施及び理事の職務執行状況を前に説
明したところ、ハザレも適切であることを
認めめた旨を報告した。

以上につき議院が、議場に開闢、意見を求め
た所、その可否を議場に持つたところ、全員
一致をもって承認されより承認同意した。

8. 8) 議題 平成17年度決算報告及び
収支予算書確定の件

議員が、既に前回行務局方に本件議題の説
明を求めた。

会員は、手交報告した資料をもとに取支決
算報告コンサート開催に伴い、平成17年度の
事業計画を追加すると既に収支予算書を策定
する必要があることを詳しく説明した。

以上につき議院が、議場に開闢、意見を求め
た所、その可否を議場に持つたところ全員、一
致をもって承認されより承認同意した。

9. 9) 会員

以上をもって、平成17年度決算報告及び
収支予算書の議題の全部を終了したので、議員
は、議場にその報告を終し、閉幕した、そして、
議員は、理事会が開会を留めた。

上記内容を明確にするため、議員及び議事
監査官は人件にて署名捺印する。

平成17年度決算
社員監査人会議会議長会議会

議員 北林 義理 印

議事監査官会員 楠原 忠村 印

回 旗 横 棋 棋 印

平成16年度収支決算報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日

(収入の部)

基本運営運用収入	18,500円
会費・入会金収入	15,747,000円
事業収入 生涯学習フェスティバル	5,715,500円
定額講義会 出席料	10,306,000円
国旗支援活動会	3,738,000円
入場料	0円
事業収入合計	20,773,500円
國收入	506,630円
出版物収入	5,000円
災難収入合計	27,038,530円
前期繰越収支差額	12,493,063円
収入合計	49,530,793円

(支出の部)

1. 事業費	
全国生涯学習フェスティバル	4,886,277円
体験学習引継事業	1,094,333円
イベント地城費	2,500,000円
集会旅行者負担事業	598,523円
協会主催講習・講演会	266,128円
地域連携等事業費	1,500,000円
定額講義会	10,046,307円
教導者研修会	296,001円
機関紙	573,280円
パンフレット	286,620円
ホームページ	63,000円
利税公開	12,000円
計	22,137,638円
2. 管理費	
当期支出合計	16,058,620円
異常収支差額	-158,617円
次期繰越収支差額	12,334,443円

正味財産計算書(算定)

平成17年3月31日現在

（）増加の額	8円
（）減少の額	161,641円
当期正味財産減少額	161,641円
前期繰越正味財産額	28,621,-438円
期末正味財産合計額	28,629,819円

貸借対照表

平成17年3月31日現在

（）資産の部

1. 流動資産合計	12,794,458円
2. 固定資産（基本財産合計）	25,080,000円
その他の固定資産	1,031,387円
固定資産合計	26,111,387円
資産合計	38,794,835円

（）負債の部

1. 流動負債合計	254,248円
（）正味財産	38,629,819円
（うち当期正味財産減少額）	(161,641円)

負債及び正味財産合計	38,794,066円
------------	-------------

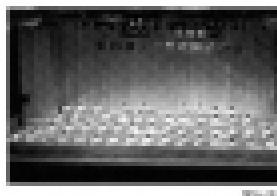
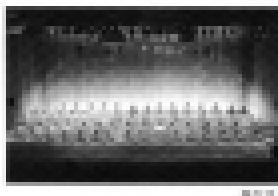
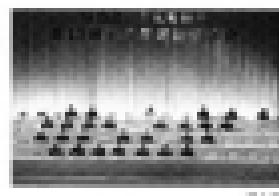
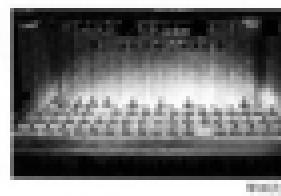
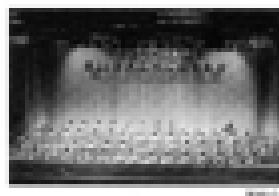
第13回大正琴演奏会終了報告

去る平成17年2月6日(日)に宮崎県宮崎市のワールドコンベンションセンター・サミット(宮崎シーガイア)において「神話のふるさと日向の国に洒き立つ大正琴の旋律」をテーマに『第13回大正琴演奏会』が開催されました。会場となつたサミットホールは一般的な音楽ホールと違い、直径17mの大シャンデリアが会場を照らす華やかな空間のパーティーのホールで、これまでにならない「絢爛豪華」という言葉がぴったりの演奏会となりました。

過去の定期演奏会は、参加者の交通の便を考慮して大都お隣で開催してきたため、当初は九州地区で初となる今回の演奏会の参加者減少を懸念する声もありましたが、予想に反して1,500名を超える多くの方にご来場いただいたうえ、開催地である宮崎県のみやさき観光コンベンション協会と宮崎シーガイアの頗るなるご支援により、会場者はもちろん来場者にも喜んでいただける演奏会となりましたことを、心より感謝いたしております。

全国にお住まいの大正琴協会の会員に、協会主催の演奏会に参加していただける機会を増やすためにも、今回の演奏会の意義は大きいと確信いたしております。今後地方都市で演奏会が開催される折には、地元会員の皆様のご協力をお願い申し上げるとともに、各演奏会実行委員の皆様のご苦労に感謝申し上げ、「第13回大正琴演奏会」の終了報告と致します。

第13回大正琴演奏会
実行委員長　北林　重



お問い合わせ窓口コンサート終了報告

21世紀最初の方陣「愛・地図隊」が平成17年3月25日から同年5月25日までの半年間開催されることになります。その申込地点の6月23日に「EATPO大正琴コンサート」が組み込まれました。大正元年(明治29)に名古屋市在住の森田吉郎氏(森名川口町に三郎丸)によって制作されながら昭和5年、その跡をの愛好者を含めると延べ何百万、何千万と想像を施す人達に親しまれてきました。此の座談会として「過去、現在、未来そして人から人への旋律」をテーマとして限りない大正琴の文化的魅力を国内外の人々に伝承する有志団体が開催づけ、「愛・地図隊」に掲げているサブテーマの「人生のねどと想い」に適合していることから企画させていただきました。出席団体は各団体がそれぞれの団体の特徴を活かし大勢の人達に支持されている豪華、演歌、演劇、音楽、ボップス、クラシック等、幅広いジャンルの演奏で2,300人の機運からの喝采を浴びました。現在の音楽達が再び大正琴の大正琴に参加できる可能性は僅みの嬉しいことを思いますが、このチャンスに残ることでできましたことをお互いの生涯の語り草として種子にぬめあって健康で活きることを願ってやみません。プロ開業上のセカンドティの厳しさなどで多くの方々が迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げるとともに、各団体のボランティア精神でのご協力に心から感謝して終了報告に代えさせていただきます。



会員登録

琴心流 柳澤 錦江

大正琴と私

「通にでも優しく通しく弾ける」とのキャッチフレーズに説かれて始めた大正琴でしたが、入門して20数年、指導する立場になりまして早、20年の歳月が流れました。当初はこんなに早く施くなど思ってもいませんでしたが、日々違うことに楽しさを感じ、奥の深さを知り、気が付けば大正琴に魅了され、夢中になりました。今私は人生の半生を大正琴と一緒に歩み、現在生活の中でも大正琴中心になっております。指導に出る様になりまして、大勢の方々に出会い、懇親会やボランティア等にも参加させて貰いて、嬉しいや懐かしいを絶続感があり、充実した生活中に任せを感じ、心から感謝の毎日です。



大正琴は私の「宝庫」、酒を開ければ、いつも過ぎし日々のキャラクタとした美しい想い出が蘇ります。このごろ年のせいか少し筋肉痛気味に成ることがござますが、そんな時、我が琴心流の御前見は「大正琴は生涯学習なのだから、定期検査は無いのよ、頑張りなさい」といつも優しく励まして下さいます。夢や目標をもつて居いると聞きます、打ち込めるものが有るというこことは最高に幸せです。これからもそれなりの年輪の音色が出来るように健康に気を付けて頑張りたいと思っております。

選考委員会状況説明会と お詫び

主催法人「大正琴協会音楽研究会」に基づき、平成37年6月8日に下記の皆さんが理事長表彰を受賞されました。(敬称略)

◎規定賞受賞者 前協会の業績を高めるにふさわしい功績があった者(2名)

横 澄 宏 同じく同様者(2名)

迫 田 木 康 広島県佐伯郡大野町

◎規定賞受賞者 勇導者として元年にわたり大正琴音楽の指導に尽力した者(5名)

宮 田 弘 秋田県横代市鶴来町
本 城 和 子 同上
伊 藤 文 繁 大阪府吹田市吹田市
黒 千 代 長野県岡谷市川中平町
丸 山 か ず 石川県七尾市二室町
伊 藤 久 子 名古屋市中区
鏡 雪 てる 子 静岡県富士市西岡本町
安 藤 明 子 名古屋市守山区本地が丘
日 中 郁 子 地下鉄新宿駅前店
金 日 眞 知 子 東京都杉並区上野原
白崎 美 極 子 神奈川県相模原市上鶴間
舟 田 ゆ う 子 静岡県伊豆郡天山町
外 川 千 志 子 静岡県静岡市葵区
吉 日 和 子 静岡県浜松市西区
三 井 利 康 長野県上木内郡飯野町
石 川 き よ 子 愛知県豊橋市豊橋町
猪 古 富 久 子 熊本県水俣市西半田島
酒 本 早 順 奈良県奈良市宮園元町
桜 本 伸 國 熊本県熊本八丁屋本町
尾 上 駿 子 熊本県本渡郡都城下町
遠 見 八 智 子 愛知県知多市南郷町丘
大 村 久 子 名古屋市昭和区山手町
横 塚 芳 子 神奈川県相模原市大野台
桐 岛 え み 神奈川県厚木市上根野
小 林 直 美 子 神奈川県厚木市上根野
鍛 口 邦 子 神奈川県座間市座間
原 井 方 旗 愛知県丹羽郡大口町余根

近 田 康 樹 愛知県海部郡七宝町
高 橋 正 子 静岡県吉川市吉川町地
飯 田 金 女 瑞穂県さいた後山西郷三橋
宮 下 幸 康 静岡県土浦市原市
佐 久 え い 子 愛知県江南市柳町
立 桂 京 子 名古屋市中村区吉津
鳥 井 登 子 愛知県豊田市大清水町
西 田 伸 代 静岡県伊豆北条町
森 貴 士 子 静岡県藤枝市下当面
山 岐 陽 子 静岡県藤枝市藤戸ノ谷
宮 田 雅 子 長野県長野市飯田
前 戸 雄 沖縄県東風平市那覇野町
上 鶴 一 重 宮崎県西諸県郡都野村町
岡 朝 い と 岐阜県恵那市大井町
小 田 望 澄 子 東京都江戸川区中原
飯 田 有 己 静岡県東近江市松木町
吉 田 天 子 千葉県東金市宮
岡 本 直 三 東京都武藏野市境南町
長 島 の ぶ 子 千葉県白井市坂薙町
本 橋 雪 子 瑞穂県飯能市坂元
藤 代 久 麻 子 千葉県成田市中野
小 田 信 子 東京都町田市小山町
増 田 有 野 瑞穂県瑞穂市後田
後 田 雅 子 長野県波田市
今 尾 正 子 長野県茅野市湯舟寺
北 沢 康 男 子 長野県駒ヶ根市赤穂河

受賞者の皆さん、おめでとうございました。今後とも後継者育成と大正琴音楽の文化的地位向上のため一層の頑張りをご祈念申し上げます。

（社）文政研協会出版事業部

令和17回全国生涯学習フェスティバル大正琴全開演奏会

●時 期 平成37年11月13日（木）

●会 場 烏取県立吉良走中心ホール

鳥取県倉吉市駒路町212-5 TEL 0858-23-5299

令和17回全国生涯学習発表会出展事業

●時 期 平成37年11月9日（水）～10日（木）7日間

●会 場 鳥取県立市勢総合運動公園内鳥取県民体育館

令和18回国際音楽会

●時 期 平成37年12月7日（水）13時30分～

●会 場 ホテルフロランソウ吉山

東京都練馬区南青山4丁目17番28号 TEL 03-3401-1541

令和18回大正琴定期演奏会

●時 期 平成38年2月11日（土）～12日（日）

●会 場 神奈川県立ホール

横浜市中区山下町3-1 TEL 045-633-3729

編集後記

「若れる家庭は久しからず」の故郷のごとく優慢な振る舞いをする者は長く留まることもなく面あるといふ『圓鏡』のテレビ連続のように「愛憎恋尚」は作の東西を問わず継ぎ巡ることが多いようです。

後庭においても然りです。無神成長の名残りで知らず知らず孫子の肺、肝炎が複雑化し、心の病気を持ち、血壓で解決しようと安易な方法、手段を選んだことが原因で、育った子供は精神全般に障ることを免れない。單純で安易な道程を選ぶことが身に附ってしまったようになります。

人として、社会の一員として看做、理念を持たないまま獨立する者に限ります。人の心理の弱点を好好に握る脳を活用した謀などでは説明できない長の中に物語を鳴らしているかのようないやで圓鏡を自己流で楽しめ、かつ翻弄している昨今です。

小鳥や、動物が我が子を育むむ作に感動し、人間としてやるべき自然體のホールに同心を持つてゐる人が多くなることを望んでゐるこの頃です。

東屋翁の諷諭に「不自由を嘗と過れば不足なし」「己を責めて人を責むるな、及ばざるは過ぎたるより餘れり」を心して記す。